

フラワーアレンジメントの基本的なお手入れ方法

1.お花を長く楽しむには

フラワーアレンジメントの基本的なお手入れ方法と楽しみ方

フラワーアレンジメントを長く楽しむためには、飾る場所、お手入れ方法などでいくつか気をつけるポイントがあります。

○ラッピングは取る

ラッピングに使われているセロハンはすべて取りましょう。

フラワーアレンジメントを包んでいるセロハンは、お店からお客様がお持ち帰りされる際にお花が痛みにくいよう保護するためにされています。

セロハンをつけたまま飾ると、通気が悪くセロハン内の温度も高くなる、さらにはお水をあげずらいため、花がすぐ傷んでしまう原因となります。

○お勧めしない置き場所

・風が当たる場所

生花は乾燥に弱いので風が当たる場所には置かないようにしましょう。

夏冬ともにエアコンの風があたる場所の近くは避けなければいけないですし、夏場は扇風機などの風も当たらないように注意しましょう。

・直射日光が当たる場所

生花は高温に弱いので直射日光が当たる場所を避け、涼しいところに置いてください。

日差しが入ってくる明るい窓際を避け、お部屋の中央や壁側などの場所に置きましょう。

2.フラワーアレンジメントのお手入れ

○水やり

アレンジメントは水やり必須です。

水やりの目安は、夏なら毎日、冬なら2日に1回、スポンジの半分以上が水につかっている状態を常に保つようにしましょう。

スポンジを使用したフラワーアレンジメントは、器に入っているお水の量が花瓶よりも少ないためすぐにスポンジの表面が乾いてきます。

ですので、水はまめに追加が必要なのですが勢いよく上からかけるのではなく、器のふちからゆっくりと注ぐように器の高さギリギリのラインぐらいまで入れましょう。

○傷んできたお花が出てきたら取り除く

傷んだ花が出てきたら取り除くことが大切です。

傷んだ花があるとアレンジメント全体が枯れているような印象になってしまいますのでそれを取り除くだけで綺麗な印象が長く続きます。

○傷んだ花を抜いた後の空いた部分を調整する

傷んだ花だけを取り除くとその部分が空いてしまいますので、まわりの花を挿しなおして空いた部分が目立たなくなるように調整します。

取り除いた部分が大きくて隠し切れない場合は、新しい花を調達して加えるのも良いかと思えます。

傷んだ花が多くて全体が穴だらけになってきたら捨てる時です。

3.ドライフラワーにしてさらに楽しむ

生花はドライフラワーにすればさらに長く楽しむことができます。

ドライフラワーに向くお花と向かないお花がありますが、バラやカスミソウはドライフラワーとして簡単に綺麗に残せますのでお勧めです。

枯れてしまう前に風通しがいい日陰で逆さまにしてつるして乾かします。

4.フラワーアレンジメントを処分する

○フラワーアレンジメントの処分方法

・生花の処分方法

生花を処分するときは、可燃ゴミとして地域のゴミ回収に出すことが可能です。

・吸水性スポンジの処分方法

フラワーアレンジメントの器のなかには水を給水させるスポンジが入っており、このスポンジは可燃ゴミとして捨てることができます。